

第61号

令和3年 7月9日発行

おかわり
ありませんか？

ご
か
せ

議会です！

○令和3年度補正予算	P 2
○行財政改革特別委員会報告	P 3
○一般質問	P 4～P 7
○令和3年第2回定例会 議決結果	P 8
○西臼杵郡における地域医療のあり方検討委員会	P 9
○議会改革度調査結果	P10
○傍聴に来ていただきました	P11
○紹介します・その他	P12

ホームページはこちら▶

ポチッ
としてみらんの



五ヶ瀬町の税収は、町税を主体とした自主財源が22%で、地方交付税を主体とした依存財源が78%であり、財源基盤の弱さがうかがえる。

基金(貯金)残高は、新庁舎建設などの投資的事業で減少している。また地方債(借り入れ)が増加した事により厳しい財政運営が予想される。町有林・町有地などを有効活用した事業を推進し、財政健全化を望む。

次に第三セクターの現状を述べる。

①スキー場の26期は気象に影響を受け、赤字経営となった。27期はコロナ禍での営業で、過去最低の入場者数となっている。しかし、一方では、修学旅行の県内実施の推奨や若者の増加がみられ、来シーズンへの期待もできる。

②木地屋の宿泊部門では、合宿などの用途に対応できるよう、別館を開設し、95人の宿泊が可能となった。しかし、コロナ禍での営業となり、厳しい内容となった。

③ワイナリーも同様であり、厳しい結果となっている。今期は新商品の開発などにも取り組んだ。通信販売の業績を伸ばしている。

双方、コロナの影響が大きな打撃となっている。今後の情勢も先行きは不透明である。施設の老朽化・安全確保のための歳出も予測される。高速道路などのインフラ整備が進んでいく事もあり、先を見越した総合的・計画的な運営判断をされるよう会社と協議されたい。

コロナ感染拡大防止対策については、給付金をはじめ、ワクチン接種など、町民の不安と心配の中、迅速な対応や、最善の努力をされており、引き続きなお一層の精進を期待します。

九州中央自動車道整備促進対策特別委員会の設置について

九州中央自動車道「高千穂～雲海橋」間が、令和3年度事業化され五ヶ瀬町県境～日之影町平底までの区間は全て事業化となりました。早期に全線開通を図るためには、予算の確保をはじめとする要望活動が重要であります。土捨て場の確保、宅地の移転先の確保やスムーズな土地交渉などの受け入れ態勢の充実を図り、地元自治体の意欲を示す必要があります。この様なことから「九州中央自動車道整備促進対策特別委員会」を五ヶ瀬町議会に設置し、十分な活動を行ってまいります。

一 般 質 問

我が町政を問う

6月定例会では6人の議員から13件の質問がありました。

秋本 良一(4～5ページ)

○向坂山・白岩山周辺グリーンシーズン利活用について

佐藤 成志(4～5ページ)

○五ヶ瀬町の今後の教育は

○小中学校でのタブレットの利用について

○小学校の統廃合について

渡邊 孝(4～5ページ)

○五ヶ瀬町に人と仕事を取り戻すための考えは

○消防団組織について

小笠まゆみ(6～7ページ)

○フレイル(虚弱)の現状と対応について

○子どもの貧困の現状と対策について

○非常時の備蓄品の管理と更新について

甲斐 松男(6～7ページ)

○地域活性化施設への取組みは

○町の産業振興の方向性について

白瀧 徹哉(6～7ページ)

○地域づくり「小さな拠点」形成について

○2期目の成果と次期町長選挙の考えについて

令和 3年第2回(6月) 五ヶ瀬町議会定例会

6月1日から8日までの8日間の日程で行われました。

令和3年度一般会計補正予算は **2千500万円**を追加し

総額

41億2千300万円

令和3年度一般会補正予算(第1号)のおもな内容は次のとおりです。

事業名	事業費	事業内容
財産管理費(総務課)	1000万円	民間活力による住宅供給事業補助金
森林公園事業費(企画課)	1526万円	スキー場施設整備
学校教育費(教育委員会)	1280万円	小・中学校トイレ洋式化工事
商工振興費(企画課)	1125万円	新型コロナ対策プレミアム商品券発行

令和2年度五ヶ瀬町一般会計補正予算(専決第2号)

7,350万円を減額し 69億50万円に

6月 議会での専決処分(事業費が確定し収支を明確にしたもの)



五ヶ瀬ハイランドスキー場リフト

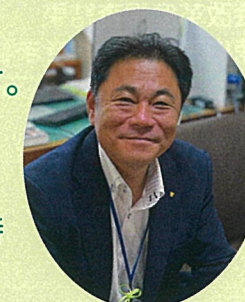


民間活力による住宅供給事業対象予定地

陳情の審議結果

4月12日鞍岡笠部地区より提出されました水道施設の陳情は採択と致しました。

素敵な笑顔で表紙を飾っていただいたのは、本年4月より新たに教育長に就任されました、渡木 秀明(わたき しゅうめい)教育長です。渡木教育長は平成28年～30年度に本町の指導主事として勤務されていました。健康に留意されますと共に五ヶ瀬町の教育の発展に寄与されます事を期待申し上げます。



おかえりなさい!



あきもと りょういち
秋本良一議員

向坂山・白岩山 周辺グリーンシ ーズン利活用に ついて

町長 森林区間総合利
用地域管理運営方
針に沿い、地域から
のアイデアを積極
的に頂き、共にエリ
ア内の活用方向性
を検討する

町長 高山植物の宝庫で、
希少植物もある中、癒
しを求める入山者も多
い。オールシーズン、
老若男女が利活用でき
地域経済を生む新しい
スタイルを加えた施策
の考えは

町長 冬季活用以外では高
地トレッキングなども
検討したが実現してい
ない。今後新しいスタ
イルを加えた施策は、
地域主導で検討をして
いく

町長 オールシーズン利活
用は大きな課題と捉え
ている。全国森林レク
リエーション協会の理
事の立場もあり、今後
も継続して関係部署と
意見交換・協議を行っ
ていきたい

町長 現在、「レクリエー
ションの森」・「日本
美しの森」おすめ国有
林」に指定されている
国有林ではあるが五
ヶ瀬の財産として有効
活用を望む。長引くコ
ロナの影響で、健康や
癒しを求めている動き
が活発化している。国
と連携し、必要な予算
を頂きながら森林空間
利活用が得策では

町長 現時点での払い下げ
の考えは無く、国と連
携しながら、地域から
のアイデアも活かせる
ようにしたい。この
エリアの活用の方向性
を検討していく

町長 令和元年に五ヶ瀬教
育グラウンドビジョンの
スケールアップをした。
核となるのは「社会
に開かれた教育課程」
である。町立5校すべ
てで学校運営協議会も
スタートしており、地
域と連携・協働した教
育の充実を更に推進す
る



さとう せいじ
佐藤成志議員

町の今後の教育 は

町長 子ども達が豊か
な人生を自ら切り
拓き五ヶ瀬町の創
り手となる教育を
充実させる

町長 新教育長として、今
後どの様に教育を進め
ていくのか

町長 令和元年に五ヶ瀬教
育グラウンドビジョンの
スケールアップをした。
核となるのは「社会
に開かれた教育課程」
である。町立5校すべ
てで学校運営協議会も
スタートしており、地
域と連携・協働した教
育の充実を更に推進す
る

町長 これまで以上に地域
との繋がりを強めると
ともに、将来、子供達
が豊かな人生を自ら切
り拓き、持続可能な未
来の五ヶ瀬町の創り手
となるようキャリア

小学校の統廃合 について

町長 児童生徒数減少に歯
止めがからず、今後
の見通しも非常に厳し
いものがある中におい
ても考えは無いのか

町長 小学校では、小規模
のメリットを生かした、
きめ細かい指導と、4
つの小学校が合同で行
うG授業と組み合わせ
ること、子供たちにと
って最適な教育環境
があると判断し、工夫
を凝らした学校教育を
行っている

町長 意向調査では、町民
の学校教育の重要度・
満足度は共に高く、こ
れからの学校教育への
更なる期待と、これま
での取り組みに対する
一定の評価があると考
え、現段階での小学校
の統廃合は考えていな
い

町長 但し、今後、児童数
が更に現象することに
より、日々の学校生活
における児童への負担
増や行事への支障が予



わたなべ たかし
渡邊孝議員

町に人と仕事を 取り戻すための 考えは

町長 抜本的な解決策
がないのが現状で
ある

町長 本年度から第2
期「五ヶ瀬町・まち・
ひと・しごと・創生
総合戦略」を策定
し、その戦略に沿っ
て施策を展開する
ことで地域の活力
を維持しつつ、人口
減少の傾向を緩やか
にすることができ
ないかと考えている

町長 現在の企業誘致の働
きかけの状況は

町長 本町へ進出した企業
への奨励金及び固定資
産税の免除や、特別措
置法による優遇措置を
行なっているが、進出

住宅用地確保のため
の小規模用地整備につ
いては、以前から夢見
ていたが、実現できて
ない。しかし、どうし
ても住宅を作りたい思
いはある。検討委員会
で充分議論して、居住
環境の整備も含めた分
譲地を考えていきたい

町長 若者主動の婚活イベ
ントの応援体制は

町長 今年は、新たに婚活
支援の助成制度を創設
した。コロナ禍でイベ
ントがなかなか実施で
きないが、引き続き支
援していきたい

消防団組織にお ける「機能別消 防団」の活動業 務内容は

町長 火災時の初期消
火、災害防災活動
の後方支援、その他
団長が認める業務
となっている

町長 機能別消防団に対す
る消火整備講習や、
災害訓練等の内容と回
数、又、その募集方法は

町長 現時点では、まだ活
動内容や回数は決まっ
ていない。募集につい
ては、各地区の館長及
び消防団（部長）に人
選いだいていく

町長 消防操法大会の現状
と今後について

町長 コロナの影響で昨年
に続き今年度も中止と
なった

町長 操法大会の縮小に対
する行政としての考え
は

町長 大会の在り方は、消
防団で協議されるもの
である。歴史ある大会
であり、地域の交流や
絆にも役立つ。先行き
の判断は難しい

希少植物やブナ原生 林の保護の考えは

町長 九州森林管理局と協
議し様々な施策を行っ
ている。水源涵養・自
然・森林空間の三つで
タイプごとに査定され
ている。今後も、国と
共に森林保護に関わっ
ていく

町長 県の天然記念物指定
の白岩山だが、椎葉村
と協力して国指定にで
きないか

現在、景観条例・景
観計画を検討中であり、
北部森林管理署と意見
交換し、可能性を探る

町長 希少植物を含む季節
の情報発信力が弱いと
感じるが

町長 今後、観光協会・地
域おこし協力隊と連携
し、ユーチューブなど
を活用した新たな取り
組みをしていく。より
詳しい情報発信ができ
るようにしたい



白岩山シャクナゲルート



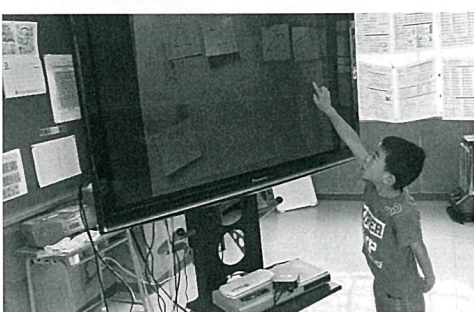
小中学校でのタ ブレットの利用 について

町長 活用とルールを
検討中である

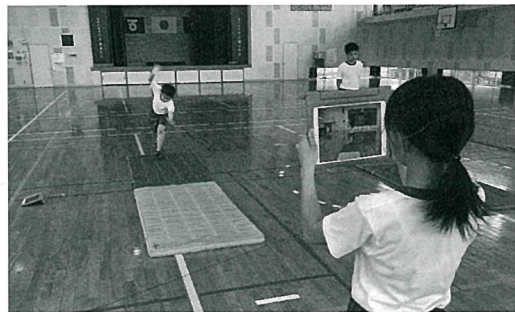
町長 全児童・生徒に配布
されたが、各家庭の環
境整備などの対応は
又、教職員のタブレ
ット活用は充分になさ
れているのか

長期の臨時休校に対
応する遠隔学習を検討
するうえでのWi-Fi
環境調査で、8割が対
応できるとあった。今
後臨時休校などの場合
家庭環境が整っている
児童・生徒は自宅で、
整っていない児童・生
徒は小中の垣根無く最
寄りの学校で遠隔学習
を実施できないか検討
中

教職員は、社会科・
体育などで積極的に活
用している。「GIGA
スクール研究会」を
立ち上げ、資質向上を
図る。児童・生徒が持
ついても検討する



タブレットを活用した授業風景



タブレットを活用した体育の授業風景

想される場合には、対
応を考える必要がある
本町の子どもたちに
最適な教育環境を提供
することが教育長の使
命であるので、先を見
通しながら、子どもた
ちの教育環境の整備に
尽力していきたい

町長 雇用拡大・創出に
つながる、町が行う農
業法人の考えは

町長 基幹産業である農林
業の振興には、今後も
いろんな情報を集め進
めていく。また、雇用
の創出という観点では、
観光部門においても現
在考えている

町長 現時点での住宅環境
の整備状況は

町長 過去10年間で整備し
た町営住宅はない。公
営住宅等長寿命化計画
の見直しを踏まえ具体
的な課題の整理をし方
針を立てる

町長 効果的な住宅支援の
在り方と空き家対策計
画に沿った施策を展開
することで住環境整備
につながると考える

町長 住宅を建設するため
の分譲地の考えは



おがさ 小笠まゆみ議員

フレイル（虚弱）の現状と対応は

福祉課長 ワクチン接種に人員を配置しなければならぬ。為サポート活用ができていない

問 長期化する自粛生活の影響で、認知機能低下・四肢の衰弱・病状悪化・心の病などの対策に新たな取り組みは

福祉課長

介護予防サポート14名の活用が、ワクチン接種の影響で出来ていない中、9月から活動開始を予定。コロナが長期化している影響は顕著に現れていると考える。対策、支援はしっかり行う。サポート養成講座2期生募集を行い、1月から講座開始予定。保健師・NPO・職員・社協等連携をとり、一丸となって地域高齢者をはじめ、福祉を必要とする町民を支える事に尽力する

子どもの貧困の現状と対策は

町長 鞍岡中跡地（祇園の里づくり協議会）活用をモデルとし、小学校区単位で、あらゆる世代の課題解決の協働組織を目指したい

警長 年間通じて必要世帯の把握に努め、対応している

問 ひとり親世帯数はまたひとり親世帯への特別な支援があるか大型連休など子どもの居場所の問題は無かったか

教育長

ひとり親世帯数は本年度26世帯で、生活保護法の規定に準じて支援している。町の特別な支援は無い。大型連休は、居場所を含めて、問題の報告はなかった

問 子ども食堂や、土日祭日等学校が休みの時の居場所の必要性はファミリースタポート制度の活用などの検討は

教育長

年に2回ほど実施している健康生活アンケート結果では食事が準備されていない報告は確認されていない。今後も注視しながら、事業発生時は支援の方法を検討していく

県において地域と学校が連携しながら見守る教育活動が推進されているので、北部教育事務所とも連携して地域ぐるみの活動を支援したい。そのことが居場所確保等にも繋がる

非常時の備蓄品の管理と更新は

総務課長

在庫・消費期限を徹底管理している

問 消費期限の近づいたものはどう更新しているのか

総務課長

管理の都合で食料や飲料水は一箇所に保管しているが、避難所開設の際等、必要と判断すれば保管所から職員が持ち出す。期限がきつたものに関しては、避難訓練などで使用していただいている。他に活用の申し出もあることから、無駄にしないように検討を重ねている

地域活性化施設への取り組みは



かい まつお 甲斐松男議員

町長 地域活性化拠点エリア整備構想検討委員会を設置する。五ヶ瀬西インター周辺を大きなエリアと捉え経済活動・観光の拠点として活用する検討を重ねていく

問 九州中央自動車道蘇陽く高千穂間の事業採択で将来のストック効果が見込まれる。町のPRが出来るチャンスでもある。特産品・農産物に付加価値を付けた直売所を含め、宣伝できる環境を整える必要がある。道の駅構想が白紙になっているが経緯は

町長

総合的な町づくりに関係してくる。全体の動向をシミュレーションして構想を作らない

と難しいという流れで、一旦白紙に戻させて頂いた

問 五ヶ瀬西インター付近に農産物・給油所などを備えたサービスエリアなどを早急に計画すべきでは

町長

五ヶ瀬のインターチェンジ等についても一刻も早く事業を展開していきたいという考えは甲斐議員と同じである

問 川南パーキングエリア内「ふらっつ」を参考に五ヶ瀬での将来のサービスエリア・拠点整備構想があるのなら早くからの取組みが必要では。町の発展にはプラスになる。他の自治体に先んじて計画し動いて欲しい

町長

一刻も早く全体構想を練り上げる。ある程度の時期には構想が立ち上がる様に努力していく

町の産業振興の方向性について

町長 取り組み課題の重要性を認識している。持続可能な農林業の再構築に向けた方針と施策を今年度中に取りまとめる

問 基幹産業の農林業の振興に対して第一次産業プロジェクトを立ち上げ、持続可能な町づくりに取り組まれている。しかしながら、一向に目指す具体的な将来像が見えて来ていない今後の展開をどう進めるのか

町長

課題の大きさと進め方の整理には、事務局での対応も難しい面もある。プロジェクト会議の取り組みについては、残りの期間、職員と一体となって取り組んでいく

農林課長

今後の第一次産業プロジェクトの展開については、計画延期している地区別座談会及び、講演会の早期開催、農林業者の団体等との意見交換をしながら町の総合計画に沿った農林振興の方針や施策について本年度内にまとめよう取り組む

地域づくり「小さな拠点」形成について



しらたきてつや 白瀧徹哉議員

町長 ぎおんの里づくり協議会を先行事例として小学校区毎に地域運営組織の設置を目指す

問 小さな拠点づくりの町の意義は

町長

国は中山間地域における集落生活圏を維持することを目的とする。拠点形成を位置付けている。区の再編は当面行わず、区を超えた地域運営協議会で補完、活力を維持していく

問 行政との連携、地域への財政支援は

町長

運営協議会が軌道に乗るまでは、財政支援は必要と考える。拠点となる施設の指定管理については今後協議していく。改修などの費用負担に関しては事前に協議しておく必要がある。大規模改修などは、国県の補助事業を活用できるように検討したい

問 避難所として施設を使用する場合、トイレのバリアフリー化が必要と思われるが

企画課長

大規模改修は町単独事業では難しい。国県補助金や、財団法人などの助成金活用しながら検討することになる

問 小学校区ごとに集落支援員・地域おこし協力隊の配置を考えるのであれば、他の自治体よりも厚遇を図るべきでは

町長

雇用対策も含めて、内容の再検討を行い、町内外、全国に発信していく

2期目の成果と次期町長選への考えは

町長 自身の最終章として、再度次期町長選挙に出馬したい

問 人口減少・三セク問題・定住者向け住宅整備など、対策の遅れを感じているが

町長

2期目の選挙では10項目の政策目標を掲げ、職員にも共有し、課題解決の取り組みを行い、行政運営をしている。防災拠点施設としての新庁舎建設・デジタル防災無線整備・中央自動車道事業化・五ヶ瀬ランドビジョン等ある程度進められている。しかし最優先課題

の第一次産業プロジェクトチームや、指摘の3つの件に関しては、スタートさせているが、まだまだ道半ばであり、今後、継続して取り組みなければならぬ。今後は、頂いた国・県のネットワーク、貴重な人脈を生かし、課題解決に全身全霊で取り組んでいきたいと考えている

町民の皆様の福祉の向上と五ヶ瀬町の更なる発展に向け出馬したい



備蓄倉庫内



特産センター

仮称 西インター付近



祇園テラス鞍楽

「西臼杵郡における地域医療のあり方検討委員会」報告 委員長 小笠まゆみ

5月18日に第三回、最終回にあたる委員会にweb参加させて頂きました。

熊本大学病院・宮崎大学病院・県立延岡病院・済生会みすみ病院・郡3町議会・郡公民館連絡協議会・郡女性連絡協議会・郡民生委員児童委員連絡協議会・西臼杵広域消防本部・高千穂保健所から参加、最終的な意見のとりまとめが行われました。

人口減少に歯止めがかからない現状に合わせ、医療の多様化、医師確保の限界、経営の悪化などの課題を解決するために、過去・現在・未来の数的根拠を分析し、それぞれの自治体の病院が生き残るためには、どのような形態が望ましいのかが検討されてきました。この4月から、3町職員が1名ずつと県から一名の派遣をうけ、「西臼杵地域公立病院統合再編準備室」が設置されました。

各病院の役割を明確にし、地域の現状に合わせた対策をどれだけ柔軟に取り組むことができるか期待するものです。病院が無くなる事はありません。医療の充実・経営基盤の強化などを目的と掲げ、「マグネットホスピタル・西臼杵モデル」※の実現に取り組むものです。

※郡内公立3病院が、急性期～慢性期医療、在宅医療、介護サービス等により最初から最後まで患者に寄り添う医療を提供することが、総合診療を学ぶ場としての魅力となり、また、ICT導入等による働き方改革の推進等によって、医師をはじめとする病院職員を中・長期的に惹きつけ、地域医療の維持・存続を可能にすることを目指す取組



みなさまの声をお聞かせください！！

（例）

○こういう特集を組んで！

○ここが読みにくい！

○議員と意見交換会をしたい！

内容は何でもかまいません。

はがきを切り取るかコピーをして、議会までお寄せください。

（※大変恐れ入りますが、切手をお貼りになるか、議会事務局までご提出ください。）

◎ご意見は次号で紹介させていただく場合もございますので、ご了承ください。

◎氏名等は公表いたしません。情報は議会だより以外には使用しません。

ありがとうございました

点線で切り取るか、コピーしてご利用ください。

令和3年第2回定例会 議決結果

議案番号	件名	結果	議案番号	件名	結果
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて（公の施設に関する条例の一部改正について）	承認	議案第32号	五ヶ瀬町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて（五ヶ瀬町税条例の一部改正について）	承認	議案第33号	五ヶ瀬町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	原案可決
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度五ヶ瀬町一般会計補正予算（専決第2号））	承認	議案第34号	五ヶ瀬町町営住宅管理条例の一部改正について	原案可決
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計補正予算（専決第1号））	承認	議案第35号	教育関係の公の施設に関する条例の一部改正について	原案可決
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計補正予算（専決第1号））	承認	議案第36号	令和3年度五ヶ瀬町一般会計補正予算（第1号）について	原案可決
報告第6号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度五ヶ瀬町介護保険特別会計補正予算（専決第1号））	承認	議案第37号	令和3年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
報告第7号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度五ヶ瀬町後期高齢者医療特別会計補正予算（専決第1号））	承認	議案第38号	令和3年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
報告第8号	繰越明許費繰越計算書について（五ヶ瀬町一般会計）	—	議案第39号	令和3年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計補正予算（第1号）について	原案可決
報告第9号	令和2年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計繰越計算書について	—	議案第40号	令和3年度五ヶ瀬町介護保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
報告第10～19号	専決処分の報告について（工事請負契約の変更について）	—	議案第41号	令和3年度五ヶ瀬町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第29号	五ヶ瀬町固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	原案可決	発委第1号	九州中央自動車道整備促進対策特別委員会の設置について	原案可決
議案第30号	五ヶ瀬町簡易水道等給水条例の一部改正について	原案可決	発委第2号	九州中央自動車道整備促進対策特別委員会の委員の選任について	原案可決
議案第31号	五ヶ瀬町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	発議第2号	議員派遣について	原案可決

条例の一部改正について9件、令和2年度補正予算5件、令和3年度予算6件及び特別委員会について2件を審議しました。

※報告第 8～19 号は報告のみのため、採決はありません。

森林・林業活性化協議会報告 委員長 甲斐松男

この協議会は、西臼杵3町議会で、森林・林業に関する調査研究と諸施策を推進する事により、森林・林業の活性化促進と森林山村振興に寄与することを目的として設立しました。

令和2年度は視察研修を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により計画を断念しました。

県の森林・林業活性化議員連盟の研究委員会では、林業の成長産業化へ向けた木材の利用促進対策を研究テーマとして色々な意見交換が行われました。

宮崎県は、杉素材生産が30年間日本一です。大型林業機械の導入により皆伐を多く目にする中、再造林・担い手不足・森林環境税の有効活用等の課題解決に向けて動いていきます。



県森連土場

🍀 傍聴にきて頂きました! 🍀

毎年、県立五ヶ瀬中等教育学校学びの森の3年生が議会を傍聴します。
3月議会でしたが、感想文を頂きましたので、今号にて紹介させていただきます。

- 自分たちが問題視している事と、実際に町が求めている事が合っていなかったと思いました。人手不足・AI化・企業との協力など、マイプロジェクトを通して解決したいと思いました。これからの五ヶ瀬の活性化を目指したいです。
- 沢山の意見が交わされ、興味深いものでした。五ヶ瀬の事を真剣に考えてくださっている姿を見て、自分も五ヶ瀬町の為に貢献できたらと考えています。
- 議員さんが五ヶ瀬を支えてくださっている事を知りました。18歳になったら、選挙に行き、政治に参加したいです。
- 思ったよりも身近な問題があって驚きました。沢山の金銭が動いていることも、改めて感じました。
- 傍聴して、改めて、自分は五ヶ瀬の町民だと自覚を持つことができました。
- 町民として、良い体験になりました。問題点もわかりやすく、マイプロジェクトに活かそうと思いました。ワクチンの事が気になっていたのも、知る事が出来、良かったです。議員さんが五ヶ瀬に思いを持っているからこそその議論だと思いました。
- 持ち時間をぎりぎりまで使い、町民の為に全力で議論されている姿に感動しました。町の事を真剣に考えてくださっていることがとても嬉しかったです。尊敬します。
- 研究で学んだ事を、五ヶ瀬町の活性化に結び付けたいと思いました。
- 五ヶ瀬の知らなかった事を沢山知りました。私も力になれるよう研究頑張ります。
- 大好きな五ヶ瀬に貢献したいです。YouTubeを立ち上げ、五ヶ瀬を発信します。
- まちづくりなど、とても興味をひく内容でした。
- 五ヶ瀬にしかないものが沢山あると思います。沢山学びたいと思いました。
- 話されている内容が難しく理解できませんでしたが、議員さんの地域をどうにかしようという熱意が伝わりました。
- いろんな課題を知りました。とても興味深い話でした。研究の見通しを立てることができました。
- 熱心な話に驚きを感じました。五ヶ瀬をよりよい町にしていきたいと思いました。
- 五ヶ瀬の為に何かできないかと考えるようになりました。
- 二回目以降の質問のやりとりで、返答に応じて臨機応変に意見を発言されることが凄いと感じました。
- コロナワクチンの事が知りたかったので、内容が分かって良かったです。
- 研究で山の事に取り組んでいますが、森林利用の話が聞けたので有意義な時間でした。
- 真剣な雰囲気の中、議論されている姿に感動しました。良い経験でした。
- 凄い、これなら任せられるなという熱気や、五ヶ瀬を変えたいという気持ちが伝わってきました。
- 五ヶ瀬の問題がわかった。特に農業の面の課題が多く感じた。研究に活かしたい。
- 五ヶ瀬の現状がわかりました。勉強になりました。
- 本物の議会は凄いなと思いました。五ヶ瀬について深く考える機会になりました。
- 堅苦しいものの印象でしたが、とても面白かったです。研究のヒントを沢山頂きました。
- 五ヶ瀬の問題が理解できました。学びになりました。また参加したいと思いました。
- 毎日何気なく過ごしていましたが、町民の為に一生懸命働いている方がいることを知りました。安全に生活できるのは、議会などで議論されているからと感じました。



早稲田大学マニフェスト研究所議会改革度調査2020結果

宮崎県内 町村議会 **第1位** 県・市町村議会第4位
九州町村議会 **第1位** 全国町村議会 第21位
情報共有・住民参画・議会機能強3分野 全国1788議会中 回答1404議会

今年も、県内町村では1位を獲得しました。この調査の目的は、議会改革の取り組み状況・傾向などを把握する為に行われています。各議会の取り組み向上の客観的指標となります。又、上位ランキングの公表により善政競争を促し、次なる課題、ステージを提示するものです。

「住民の意見を集めて調査し・話し合い・決める」という議会本来のプロセスや議会が目指すべき「地域経営を実現しようとする議会」を評価する調査となっています。昨年は、新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、意見反映・合意形成・意思決定などに影響があり、議会運営そのものが、これまでにないものとなりました。そのような中、「オンライン議会の活用」を始めとした見直しや、住民との関係性の変化など、本質的な取り組みが求められています。

今後も、町の為・町民の皆様の為・未来を担う子供たちの為に尽力する議会でありたいと思います。今後一層努力して参ります。



町民の声

Q. スキー場の赤字経営はもう、うんざりです。
今年度の早期撤退をお願いします。

A. 過去の一般質問において「気象状況を鑑み今後の経営改善に努める、暖冬が続けば、休業もしくは撤退を含め改めて方針を考える」との町長答弁がされております。議会としては現状を把握し、撤退も視野に入れ強く判断を求めています。

Q. 議員の方々は、給料に見合った仕事をして下さい。

A. ご意見を真摯に受け止め、町政の発展と住民生活の向上のため更なる努力をさせていただきます。

Q. 役場前の道路交通止が、プリント1枚8月31日(3ヶ月延長)までと簡単に通知してあります。
私たち町民にとってはとんでもなく不便です。
工事の遅れは理解できますが、舗装工事も終わっているなら早く通してください。もう我慢ばかり役場建設うんざりです。

A. 担当課の回答によると、「役場新庁舎建設工事、歩道改良工事、今後は車道改良舗装工も行われる中、道路利用者の安全確保を第一に考え通行止めにし、早期完成を目指している。町民のみなさんには、大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力をお願いします。」とのことでした。

郵便はがき

恐れいますが、
63円分の切手をお貼りいただくか
議会事務局まで
ご提出ください。

8821295

五ヶ瀬町大字三ヶ所 1670

五ヶ瀬町議会事務局 行き

氏名(掲載しません)

ペンネームなど

～紹介しま～す～

なまりまついくみ
ごかせ観光協会のニューフェイス成松郁実さん（熊本市出身）をご紹介します。

観光協会に勤めて情報収集出来る環境を整えたいとの強い思いで就業。大学が宮崎で、スキー場にも訪れていました。

五ヶ瀬は遠い印象でしたが、熊本市内から凄く近いと感じたそうです。「五ヶ瀬（地域）の皆さんがとても優しく親切であり、これからも町のPR・イベントなどを含めて魅力発信に心がけたい。ホームページで動画・写真を新たに取り入れ、空き家情報・古民家を利用したシェアハウス・ゲストハウスにも挑戦出来れば」と明るく話されていました。



地域の話題



「ぎおんの里づくり協議会」設立

鞍岡中学校が閉校して今年で6年目を迎えました。

跡地の有効活用については、町と住民代表が鞍岡の地域づくりの観点に立ち鞍岡の現状と課題、そして鞍岡の将来像を様々な角度から検証、協議が行われてきました。

関係者の皆さんの努力が実り、この度「ぎおんの里づくり協議会」が発足しました。今後は祇園テラス鞍楽（クララ）を活動拠点として、住民が主体となってそれぞれの立場で出来ることに取り組み「みんなが元気で住み続けたい鞍岡づくり」を目標に活動して参ります。町民の皆様、お気軽に鞍楽にお越しください。



五ヶ瀬ワイナリー新商品紹介

～ぶどうの宝石～

五ヶ瀬産ブラックオリーブをシロップ漬けにしました。

シロップには、葡萄の皮も使っているの、淡い紫色。

ヨーグルトやパンケーキ・タルトのトッピングにいかがでしょうか。（税込み 540 円）

～たまねぎドレッシング～

五ヶ瀬ワインビネガーを使ってドレッシングを作りました。

程よい酸味とコクのある旨味。

これからのシーズンに持ってこいの一品です。（税込み 567 円）

編集後記

梅雨・・・紫陽花も色鮮やかに咲く季節となりました、今の所大雨も少なく沈黙状態が続いております。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が解除になり、日常生活を取り戻しつつあります。最近ではイベント・行事等も少なく話題もめっきり減っております。

そんな中、五ヶ瀬中学校では「五ヶ瀬デザインプロジェクト」の取組がすすめられています。この取組は三年生が小学校一年生からの五ヶ瀬町での体験や活動をまとめ、地域の良さを生かし、課題解決のアイデアを考案し、町づくりのデザインとして、提言するものです、皆さんで応援しましょう。

コロナ感染症・熱中症・災害対策などを考慮しつつ、日々を過ごしましょう。

発行責任者

議長 甲斐 政國

議会広報編集委員会

委員長 綾 健一

副委員長 白瀧 徹哉

委員 小笠 まゆみ

委員 甲斐 松男

委員 渡邊 孝

